

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取商業高等学校

重点項目	社会人等資質育成	提出日	令和4年12月21日
------	----------	-----	------------

1 学校目標
地域の産業経済界をリードし活躍する人材の育成
2 重点項目に係る目標
(1) 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける (2) 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に向けて努力する (3) 健康に留意し、学力向上と部活動に励む
<数値目標>
(1) <u>就職内定率、進学合格率ともに100%</u> 社会人として必要な学力やコミュニケーション能力に加え、入学試験や就職試験で求められる自己表現力も育成し、生徒の進路実現を達成する。
(2) <u>「学校行事に積極的に参加し、集団に貢献している生徒」及び「適切な身だしなみを実践し、自ら進んで挨拶をする生徒」が、それぞれ90%以上維持</u> 規範意識を高め、社会人として必要なマナーや集団における自身の役割を認識し、実際に行動できる社会人を育成する。
(3) <u>「生活リズムが確立され授業に集中できている生徒」が90%以上</u> 健康的な生活を心がけ、生活リズムを確立させるなど、適切な健康管理をさせることで、学習や運動のパフォーマンスを向上させる。
3 事業計画（事業名、事業概要）
【独自事業】
<u>1 1年ビジネス基礎研修</u>
(1) 実施時期：4月 (2) 対象：1年生全員 (3) 目的：本校で学ぶ目的や商業教育への理解を深め、2年次からの類型選択（商業・会計・情報・デザイン）等、3年間を見通した学習計画や進路設計の動機付けとする。また、社会生活を営むための身につけるべきビジネスマナー、礼法を習得する。 (4) 内容：①商業学科主任による教科「商業」の学習内容を紹介し類型の説明を行う。 ②外部講師によるビジネスマナー・礼法講習会を実施する。
<u>2 健康教育スーパーバイザー派遣事業</u>
(1) 実施時期：1・2学期（計3回：うち1回は学校保健委員会での指導助言） (2) 対象：全校生徒・教職員・保護者

(様式1)

(3) 目的：将来社会人になった際、生徒が自分の持っている力を十分に発揮するためには、日頃からの自己管理能力が必要である。その土台となるのが「心身の健康」である。令和5年度からは、社会人になるために必要な「生活リズム（睡眠・食事・運動）の確立」における「食育」をテーマに、外部講師との意見交換や指導助言等をとおして、健康課題に対する生徒の自己解決力を向上させ、生涯にわたって健康であることの重要性を理解させる取組を実施する。また、教員や保護者の健康教育に対する理解を深め、家庭等における実践力の向上も図る。

(4) 内容： ①事前学習（保健委員対象）
②健康教育 LHR（全校生徒対象）
③外部講師による指導助言（教職員・保護者対象：学校保健委員会）

3 2年研修旅行

(1) 実施時期：10月上旬（2泊3日：東京）

(2) 対象：2年生全員

(3) 目的：①県内では触れることのできない日本の最先端の産業界やビジネスを実際に見聞することを通して、生徒自身の視野を広げるとともに、進路意識を高揚させる。
②研修をもとに自身の職業観・勤労観を振り返ることを通して、生徒にキャリアプログラムの再構築や構想の具体化を促す。

(4) 内容：東京都内のビジネス現場と各種上級学校を訪問する。訪問先は日本有数の企業（東証一部上場企業）を予定し、最先端の施設見学やビジネスの最前線を体験する。各種上級学校は生徒の志望に沿って選択し決定する。

※枚数任意